

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23401	食物アレルギーの医学・基礎と対応 Medical Science on Food Allergy : Basic Knowledge & Treatment	大島 美穂子	専門	2	選択	1 年前期

科目の概要

現在、乳幼児の約5%が食物アレルギーをもつといわれ、栄養士や医療とかかわる仕事を目指す人にとって食物アレルギーについての医学的知識は必須である。そこで、食物アレルギーの起きる仕組みや原因食品及びアレルゲン等の基礎知識を学習する。また、検査法や診断法並びに除去食、食事指導、薬物治療など臨床的な内容についても総合的に学ぶ。この授業では、適切なアレルゲン除去食提供や健やかな成長をめざした的確な食事指導を、科学的根拠に基づいて実践する能力を身に着ける。

学修内容	到達目標
① 食物アレルギーの仕組み、診断、原因食品を知る。 ② アレルゲン除去食、栄養指導を知る。 ③ アレルギー症状の治療を知る。	① 食物アレルギーの仕組み、診断、原因食品を理解し、説明することができる。 ② 除去食を含めた栄養指導を行うことができる。 ③ アレルギー症状の治療について理解し、説明することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業では教員の質問に積極的に答え能動的に参加できる。授業以外の時間では、課題について自己学習で資料や参考書を利用して知識を深めることができる。
	働きかけ力	
	実行力	到達目標を確認し、目指す成績目標を設定すること。そのうえで、目標が達成できるよう予習や復習に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	食物アレルギーの正しい知識を学習することで、食物アレルギー患者の日常生活における困難を理解し、栄養士として患者に提供すべき情報や知識を推察することができる。
	計画力	予習と復習で、能率よく自己学習を進めることができる。
	創造力	本科目や、食事療法論、食事療法実習、保育の基礎講座で学んだ知識を動員して、それぞれの患者に応じた除去食、栄養指導を自ら考えることができる。
チームで働く力	発信力	発言の際、相手がどのような情報を求めているかを理解して伝えることができる。
	傾聴力	講義内容や相手の意見を丁寧に聞き取り、自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、私語、居眠りなど講義に支障をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

「これだけでわかる食物アレルギー」宇理須厚雄・伊藤浩明監修／(株)みらい 3,000 円

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 食事療法論Ⅱ、食事療法実習Ⅱ、病理学、生理学、解剖学、栄養学、食品学

資格との関連: 栄養士

学修上の助言	受講生とのルール
食物アレルギーに関する理解は現在も進歩の過程である。食物アレルギーに関するニュースや新聞記事などには必ず目を通す。実際に自分が食物アレルギーを持つ子どもたちとかかわる際にどう対応すればいいかを想定しながら受講するとよい。	携帯電話の電源は切り、カバンにしまっておくこと。私語を慎む。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	80	①	✓	食物アレルギーの仕組み、検査法と診断法、各アレルゲンの特徴について、基本概念や語句が理解できていること。 それぞれの患者に対し、適切なアレルゲン除去食を組み立て、適切な食事指導を計画できること。 アレルギー症状の治療法を正しく理解し、説明できること。 必須の学修内容を理解し、ポイントを押さえ、自ら考え記述しているか評価する。
		②	✓	
		③	✓	
小テスト	10	①	✓	第13週までの内容について理解度を確かめるために小テストを行い評価する 基本概念や語句を理解できているか確認する。 穴埋め問題を中心に、記述問題も出題する。
		②	✓	
		③	✓	
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	「主体性」自ら知識を深める姿勢・行動がみられること 「実行力」自己の学修目標を設定してその達成に努力すること。 「課題発見力」個々の食物アレルギー患者に有益な情報が何か考えられること。 「計画力」予習・復習で能率的に自己学習ができること。 「創造力」知識を活用し栄養指導を計画しわかりやすく説明できること。 「発信力」聞き手に分かりやすい発表の仕方ができること。 「傾聴力」相手の意見を丁寧に聞き取り自分の意見を述べられること。 「規律性」授業が円滑に進行するよう、遅刻、無断欠席、授業に支障をきたす行動をしないこと。
		②	✓	
		③	✓	
その他				
総合評価 割合	100			筆記試験、第14回講義に行う小テストおよび授業態度(毎回の講義で行う確認テストの成績も加味する)の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>★食物アレルギーの仕組み、検査法と診断法、各アレルゲンの特徴を正しく理解し説明できること。(①)</p> <p>★患者に応じたアレルゲン除去食、食事指導を計画し、的確に記述・説明できること。(②)</p> <p>(②)</p> <p>S(秀) = ① + ②、A(優) = ①または②</p>	<p>★食物アレルギーの仕組み、検査法と診断法、各アレルゲンの特徴を記述でき(①)、アレルゲン除去食、食事指導の基礎知識を説明できること(②)。</p> <p>B(良) = ① + ②、C(可) = ①</p> <p>(量)</p>

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 / 1週	○アレルギーとは何か アレルギーの仕組み、 食物アレルギーとは何 かを理解する。	講義	食物アレルギーとは何 かを説明できる。	復習:ノートとテキストで食物アレ ルギーの概要を復習すること。 予習:次回の食物アレルギーの 原因食品と病型につきテキスト P5-7で確認すること。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
2週 / 2週	○食物アレルギーの 基礎 食物アレルギー原因 食品、病型、症状につ いて理解する。	講義 授業開始時に確認テ スト(復習内容の質問 に記述で解答。テスト 後答え合わせし解説 する)	食物アレルギーの原 因食品、病型を説明 できる。	復習:ノートとテキストで原因食 品、病型を復習すること。 予習:次回の食物アレルギーの 検査につきテキスト P8-10で 確認すること。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
3週 / 3週	○検査と診断 血液検査・皮膚検査・ 食物経口負荷試験な どについて理解する。	講義 授業開始時に確認テ スト(復習内容の質問 に記述で解答。テスト 後答え合わせし解説 する)	食物アレルギーの検 査法と診断手順を説 明できる。	復習:ノートとテキストで検査法 を復習すること。 予習:次回のアレルギー除去食 につきテキスト P10-12で確認 すること。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
4週 / 4週	○耐性獲得 耐性獲得、アレルギー 除去食、食事指導、経 口免疫療法について 理解する。	講義 授業開始時に確認テ スト(復習内容の質問 に記述で解答。テスト 後答え合わせし解説 する)	アレルギー除去食の 原則を説明できる。	復習:ノートとテキストでアレルゲ ン除去食、食事指導を復習する こと。 予習:次回のアナフィラキシーに つきテキスト P12-14で確認す ること。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
5週 / 5週	○症状と薬物治療 アナフィラキシーの症 状と対応、エピペンに ついて理解する。	講義 授業開始時に確認テ スト(復習内容の質問 に記述で解答。テスト 後答え合わせし解説 する)	アレルギー治療薬の 種類と働きを説明でき る。	復習:ノートとテキストでアレルギ ー症状と対応法を復習すること 予習:次回のアレルギーにつ きテキスト P18-28で確認する こと	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
6週 / 6週	○アレルギー総論 アレルギーとは何か、 タンパク質の性質と構 造、コンポーネントに ついて理解する。	講義 授業開始時に確認テ スト(復習内容の質問 に記述で解答。テスト 後答え合わせし解説 する)	タンパク質の性質、コ ンポーネントについて 説明できる。	復習:ノートとテキストでアレルゲ ンを復習すること。 予習:次回の鶏卵アレルギーP3 0-32につきテキストで確認す ること。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
7週 / 7週	○鶏卵アレルギー アレルギーの特徴、症 状の特徴などを理解 する。	講義 授業開始時に確認テ スト(復習内容の質問 に記述で解答。テスト 後答え合わせし解説 する)	鶏卵アレルギーの特 徴を説明できる。	復習:ノートとテキストで鶏卵アレ ルギーを復習すること。 予習:次回の牛乳アレルギーに つきテキスト P32-36で確認す ること。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
8週 / 8週	○牛乳アレルギー アレルギーの特徴、症 状の特徴などを理解 する。	講義 授業開始時に確認テ スト(復習内容の質問 に記述で解答。テスト 後答え合わせし解説 する)	牛乳アレルギーの特 徴を説明できる。	復習:ノートとテキストで牛乳アレ ルギーを復習すること。 予習:次回の小麦アレルギーに つきテキスト P36-39で確認す ること。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 / /	○小麦、米、ソバアレルギー アレルギーの特徴、症状 の特徴などを理解する。	講義 授業開始時に確認テ スト(復習内容の質問 に記述で解答。テスト 後答え合わせし解説 する)	小麦、米、ソバアレル ギーの特徴を説明で きる。	復習:ノートとテキストで穀物ア レルギーを復習すること。 予習:次回の魚類アレルギー につきテキスト P48-52で確 認すること。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
10週 / /	○肉類、魚類、魚卵アレ ルギー アレルギーの特徴、症状 の特徴などを理解する。	講義 授業開始時に確認テ スト(復習内容の質問 に記述で解答。テスト 後答え合わせし解説 する)	肉類、魚類、魚卵アレ ルギーの特徴を説明 できる。	復習:ノートとテキストで肉類、 魚類、魚卵アレルギーを復習 すること。 予習:次回の大豆アレルギー につきテキスト P40-46で確 認すること。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
11週 / /	○豆類、種子類アレル ギー アレルギーの特徴、症状 の特徴などを理解する。	講義 授業開始時に確認テ スト(復習内容の質問 に記述で解答。テスト 後答え合わせし解説 する)	大豆、ピーナッツ、ナ ッツ類、ゴマアレルギ ーの特徴を説明でき る。	復習:ノートとテキストで豆類、 種子類アレルギーを復習する こと。 予習:次回の果物、野菜アレ ルギーにつきテキスト P46-4 8で確認すること。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
12週 / /	○果物、野菜アレルギ ー アレルギーの特徴、症状 の特徴などを理解する。	講義 授業開始時に確認テ スト(復習内容の質問 に記述で解答。テスト 後答え合わせし解説 する)	果物、野菜アレルギ ーの特徴を説明でき る。	復習:ノートとテキストで果物、 野菜アレルギーを復習するこ と。 予習:次回の園や学校での対 応につきテキスト P86-94、118 -121で確認すること。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
13週 / /	○保育園、幼稚園、学校 でのアレルギー対応 給食対応、・行事におけ る配慮について理解す る。	講義 授業開始時に確認テ スト(復習内容の質問 に記述で解答。テスト 後答え合わせし解説 する)	園や学校でのアレル ギー対応について説 明できる。	復習:ノートとテキストで園や学 校での対応を復習すること。 予習:1-13週までのノート、テ キスト、確認プリントを見直すこ と。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
14週 / /	○1-13週のまとめ 食物アレルギーの総合 知識を定着する。	小テスト(復習内容を 記述で解答。テスト後 答え合わせし解説す る)	前週までの内容を理 解できている。	復習:間違った問題についてテ キストで確認すること。 予習:次回の食事指導につ きテキストで確認すること。	180	実行力 課題発 見力
15週 / /	○除去食と食事指導 除去食と食事指導の実際 について理解する。	講義	アレルギー除去食や 食事指導の留意点を 説明できる。	復習:ノートとテキストで除去食 と食事指導を復習すること。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力